

記録
ビデオ
カラー / 20分
日・中・英語版

■企画

- 中外製薬株式会社
- 監修
平嶋邦猛 (埼玉医科大学名誉教授)
浅野茂隆 (東京大学名誉教授)
中畑龍俊 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学教授)
中内啓光 (東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター幹細胞治療研究分野教授)

スタッフ

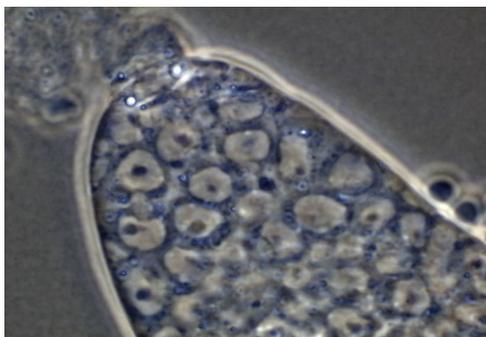
- 製作
花崎 哲
- 脚本・演出
森 吉美
- 演出助手
高崎理香 栗原龍一
- 顕微鏡撮影
鈴木博之 瀧澤 登
伊東一郎
- 撮影協力
KINOX
- Lighting Camera-
man in Wales:
Phillip Davies
- Lighting Camera-
man in Manchester:
Andrew Johnson
- Sound:
Gavin Marshall
- Coordinator:
Tomoko Miyakoda
- CG
白藤幸代
- バズルデザイン
谷 健児
- 選曲
徳永由紀子
- 編集・録音
東京テレビセンター
- 解説
榊原良子

第46回科学技術映像祭文部科学大臣賞 第15回 TEPIA ハイテク・ビデオ・コンクール優秀作品賞

すべての細胞のもとになる幹細胞がそのままの能力を維持できる生体内の場所は、「ニッチ」と呼ばれ、長い間仮説上の存在だった。研究が進み、骨髄の中のどこにそのニッチがあるのか、今、明らかにされようとしている。

■協力

- Ray Schofield, Ph.D. T.Michael Dexter, Ph.D. Donald Metcalf, M. D. 本村正治 (元 福岡通信病院長) 小林正智 (独立行政法人理化学研究所バイオリソースセンターリソース基盤開発部実験植物開発室)
- Margaret T. Fuller Yukiko M. Yamashita (Department of Developmental Biology Stanford University School of Medicine)
- 浅岡美穂 (国立遺伝学研究所発生遺伝研究部門)
- 大沢匡毅 (独立行政法人理化学研究所発生再生科学総合研究センター幹細胞研究グループ)
- 服部浩一 Beate Heissig (東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター再生医療の実現化プロジェクト幹細胞制御領域)
- 須田年生 新井文用 (慶應義塾大学医学部発生分化生物学)
- 松崎有未 (慶應義塾大学医学部生理学教室幹細胞研究チーム)
- 澤田賢一 (秋田大学医学部第三内科講座)
- Terence D.Allen Graham Cowling (Structural Cell Biology Paterson Institute for Cancer Research Cancer Research UK)



骨髄移植や再生医学においてすべての細胞のもとになる幹細胞が、幹細胞のまま、その能力を維持できる生体内の環境が大きな意味を持っている。

この作品は、ニッチの存在を初めて提唱したイギリスの Dr. Ray Schofield をはじめ、この研究を手掛けてきた多くの研究者の話を知るとともに、血液学の領域を超え、無脊椎動物や植物の幹細胞研究にまで範囲を拡げ、最新のマイクロ技術によって実態に迫ろうとしたものである。